



世界衛星通信事業最大手 Intelsat 社と新衛星 Intelsat 15(IS-15)の区分所有で合意

スカパーJSAT株式会社（代表取締役社長：仁藤 雅夫、本社：東京都千代田区）の100%子会社であるジェイサット株式会社（代表取締役社長：磯崎 澄、本社：東京都千代田区、以下「JSAT」といいます。）は、衛星通信事業世界最大手の Intelsat 社（本社：英領バミューダ、以下「Intelsat」といいます。）との間で、2009年からの運用を予定している新衛星 Intelsat 15(IS-15)に搭載する中継器を区分所有することで合意致しました。

本事業で用いられる衛星は、Intelsat が保有する衛星「IS709」の後継機として、2009年初頭打ち上げを予定、アジア、インド洋、中近東などをカバーします。同衛星はKuバンドを合計22本搭載し、そのうちの5本をJSATが区分保有し運用します。

当社が搭載する中継器を利用する事により、インド洋を主とする地域の沿岸諸国や海洋と日本との間で直接ブロードバンド通信を実現する事ができます。これにより、今までの陸上を中心としたKu通信サービスに加え、船舶等の移動体に於いても、6Mbps程度の双方向通信が可能となります。船舶であれば船舶運航診断システム運用や航海解析システム等の運行情報、本社とのメールや図面の送付等も可能となり、情報共有の要求が高まる中、海運各社や政府機関での利用が期待できます。

本件の合意はJSATとIntelsatの長年の友好関係の更なる発展を示すものです。JSATはアジアの衛星通信事業者として初めて北米でサービスを提供していますが、その歴史は両者が西経127度に共同保有する「Horizons-1」で始まりました。また2007年後半には二機目の共同衛星「Horizons-2」を西経74度に打ち上げる予定です。

「Intelsat 15(IS-15)」中継器区分所有の概要：

軌道位置	東経 85 度
区分所有する中継器概要	中継器本数：Ku バンド X 5 本（搭載 22 本中） 周波数帯域幅：36MHzX4 本、72MHz X1 本 衛星設計寿命：15 年（予定） カバーエリア：アジア、インド洋、中近東（紅海付近まで）

JSAT 株式会社について

赤道上空約 36,000km の 8 つの軌道に 9 機の通信衛星を保有するアジア地域における最大規模の衛星通信事業者です。いつでも、どこでも、誰にでもご利用いただけるコミュニケーションサービスの提供を目指しております。(<http://www.jsat.net/>)

Intelsat 社について

Intelsat は、世界最大の衛星通信事業会社です。全世界 200 カ国以上のメディア、ネットワークサービス事業者、通信事業者や政府系機関に衛星通信サービスを提供し、個人や企業がどこでも安定的に情報や娯楽にアクセスすることを可能にしています。Intelsat は、豊かなリソースに支えられたビジネスの利便性と安心をお客様に提供し、ビジネスの可能性高めます。Intelsat のサービスは、世界のリーディングメディア、通信事業者、多国籍企業、インターネットサービスプロバイダー、政府機関などを含む広範囲の顧客に利用されています。(<http://www.intelsat.com/>)

“Real-time, constant communication with people anywhere in the world is **closer, by far**”